



ひまわり

【『ひ・ま・わ・り』のごとく】 ころもからだも元気な声の粟ノ保っ子



本に親しんでみませんか

HPでもお知らせしていますが、毎月1回図書ボランティアさんによるブックタイム（朝の読み聞かせ）を子ども達は楽しみにしています。ボランティアの方々は、この学級にはどんな本がよいかなあ、と本を選定することを楽しみにして下さっています。



学校では図書委員会や学校図書館司書さんが、子どもが本に親しむ習慣を身に付けるためにいろいろなアイデアを出して活動しています。学校図書館司書（月・火・水勤務）の中西さんは、図書室の前等にお勧めの本を紹介してくださっています。今後も子どもの知性や感性を磨く上で大切な本に親しむ取組を行っていきたいと考えます。これからの梅雨の時期に、ご家庭でもぜひ親子で読書タイムや読み聞かせをしてあげたりする時間を設定してみてください。

読書活動の効果について

★語彙力が身につく

本の中には、普段会話をする際に自分では使わないような言葉もたくさん出てきます。知らなかった言葉に触れ、さまざまな言葉を覚えていくことで語彙力が身に付きます。

語彙が豊富になると表現力が豊かになり、学力の向上やコミュニケーションスキルのアップにもつながっていきます。

★読解力が育つ

内容を理解しながら文章を読み進めることで、読解力が育まれます。「勉強」として文章の読解を習うよりも、物語を楽しみながら読んでいく方が、無理なく読解力を身に付けることができます。

語彙力の向上とともに、国語学習に直接役立つのが読書のよいところです。

★論理的な思考力が育つ

物語は起承転結などの構成に沿って話が作られています。読書をすることで、順序立てて物事を考える力が育まれ、論理的な思考力が身に付きます。論理的な思考力は学習効率を高めるとともに、社会に出てから仕事を進めていく上でも大いに役立つでしょう。

★集中力が鍛えられる

本の内容を理解しようとするとき、人は集中して文章を読んでいます。特に好きな本に出会ったときには、昼夜を忘れて一気に読み進めるようなこともあるでしょう。その経験を繰り返すことで、子どもの集中力はどんどん鍛えられていきます。

★いろいろな知識が得られる

今まで知らなかったことを本で知った、という経験をした方も多いのではないのでしょうか。まだまだ経験の少ない子どもにとって、本から得られる知識は計り知れないものがあります。

歴史や偉人伝、自然現象など、学習に直接役立つものはもちろん、日々の生活を豊かにするさまざまな知識が得られるのも読書のよさといえるでしょう。

★想像力が豊かになる

本を読んでいるときには具体的な情景を思い浮かべたり、主人公の気持ちを考えたりと、いろいろなことを想像しています。頭の中でさまざまなイメージを思い浮かべることによって、想像力が養われていきます。

★リラックス効果がある

読書を楽しんでいると、自然とストレスが解消されていくと言われています。寝る前に本を読むと、リラックスした状態で眠りにつくことができ、より良質な睡眠をとることができるでしょう。ただし、わくわくして続きが気になる本や、夢中になるような本だとかえって目が冁えてしまうこともあるので、選ぶ本には注意が必要です。

【GAKKENより】